

# 歳入確保対策に向けた重点的取り組み (改善プラン)

【概要版】

- ◇ 歳入確保対策に向けた重点的取り組み(改善プラン)について .....1
- ◇ 歳入確保対策に向けた重点的取り組み(改善プラン)における主な取り組み等 .....2
- ◇ 市税収納率及び市収入金未済額の推移 .....3

福岡県田川市  
(田川市歳入確保対策本部)

# 歳入確保対策に向けた重点的取り組み(改善プラン)について

## 1 歳入確保対策に向けた重点的取り組み(改善プラン)策定の経緯

市を取り巻く現状として、

- (1)平成22年度以降において、大幅な財源不足が生じ、市財政はまさに非常事態に直面すること。
- (2)滞納の常態化、固定化が進み、平成19年度決算に基づく滞納繰越金が約25億7千万円となっている。

上記の理由等により、市として非常にきびしい局面を迎えている。

このことは、将来、市民負担の大幅な増加など市民に多大な痛みを強いることにもなりかねない。

本市としてはいかなる方策を講じても、こうした事態に突入することは絶対に回避しなければならないという観点から、今回、滞納整理の強化を中心とした、「歳入確保対策に向けた重点的取り組み」、いわゆる改善プランの策定に至ったところである。

## 2 改善プランの概要

この改善プランは、田川市歳入確保対策本部に設置された、滞納整理強化部会、未登記・未利用市有地処分部会、特定財源等調査・活用部会の3部会で十分に議論を重ね、取りまとめられたものであり、今後3年間で重点的に取り組んでいく内容となっている。本プランの特徴として、各プランごとに具体的数値目標と方針を掲げ、それに対する進捗率を計るなど、進行管理の強化による歳入確保体制の抜本的改善を図るものとしている。

## 3 推進体制と本市の取り組み姿勢

改善プランの推進にあたっては、副市長を本部長とする田川市歳入確保対策本部において検証・評価を行うものとしている。

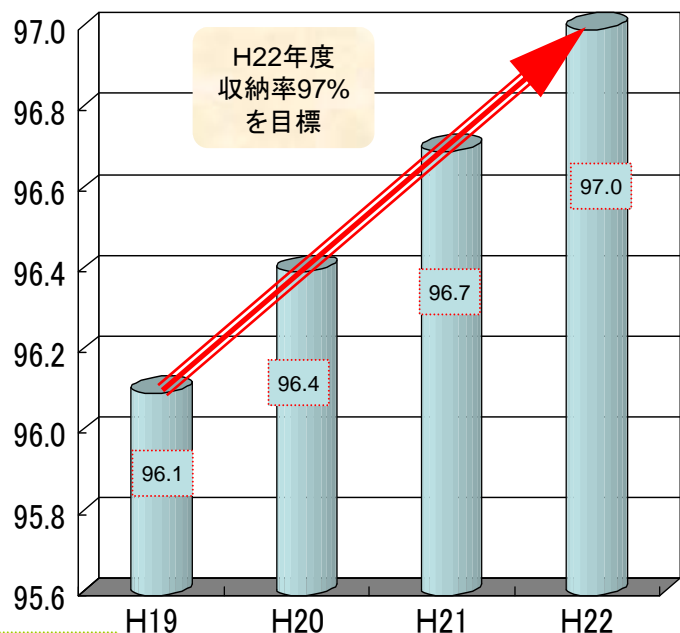
また、本市がこの改善プランをもって、今後真の地方自治の確立に向け、歳入確保対策を全庁的に実践していくとする意志を広く内外に示していくために、改善プランの基本理念を、「歳入確保抜本強化で 危機突破」と位置づけ、今後強力に推進していくものとしている。

## 歳入確保対策に向けた重点的取り組み(改善プラン)における主な取り組み

① 特別チームによる滞納処理		●不良債権を適切に処理することにより累積滞納の解消を図る。対象→高額長期滞納者
② 法的措置の実施		●訴訟など法的措置の実施により早期回収を目指す。
③ 強制搜索の実施		●動産・不動産の差押え後、インターネット公売実施。公売の準備完了、市の滞納整理姿勢を広くアピール。
④ 滞納管理システムの見直し・改善		●全庁的に活用できる債権管理システムへの見直し、改善を図ることにより、業務の効率化と収納率の向上を目指す。
⑤ 専門研修の実施		●専門研修により、効率的な督促、催告の実施、財産調査、差押等滞納整理手法の向上を目指す。昨年に引き続き、現在市町村税務職員実務研修に1名派遣し、専門人材を養成中。
⑥ 未利用市有地の処分基準の策定		●市有地の分類及び利活用状況を調査後、具体的処分基準を策定したうえで、H21年からの計画的処分等を推進する。
⑦ 特定財源の情報収集と新たな収入源の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業財源の模索・検討を継続実施し、財源確保に努める。</li> <li>●既存の歳入に頼らず、新たな歳入を創設する。</li> </ul>
⑧ 進行管理の強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>●債権ごと収納率、未済額の目標値を定め、進行管理を徹底。</li> <li>●歳入対策本部による進捗状況等の検証・評価</li> </ul>
⑨ 職員研修の実施		●全職員に滞納問題等に危機意識を持って対応してもらうため、定期的に職員研修を実施し、職員の資質向上に努める。

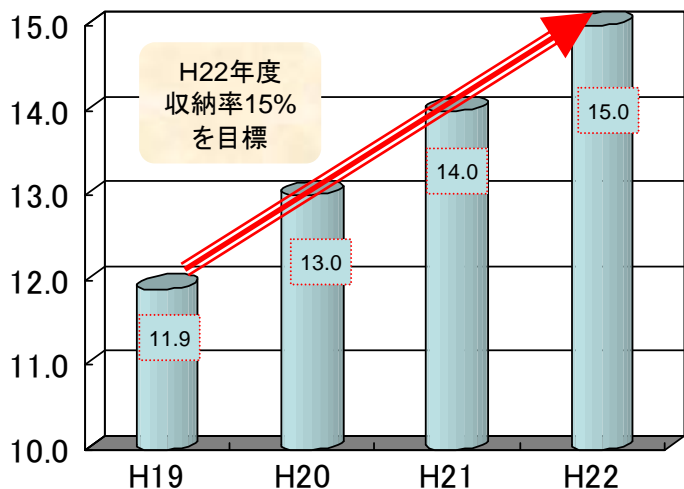
# 市税収納率及び市収入金未済額の推移

## 市税(現年度)収納率の推移



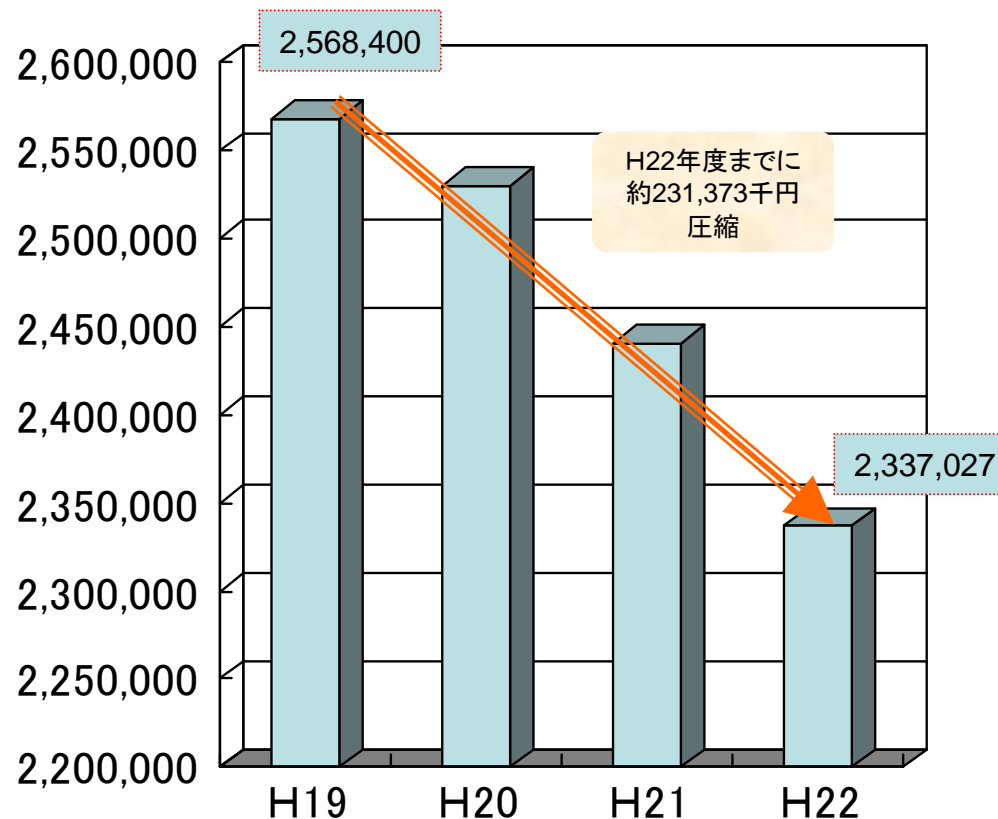
(単位: %)

## 市税(過年度)収納率の推移



(単位: %)

## 市収入金未済額の推移(債権全体)



(単位: 千円)